

人権のひろば

2025年11月号

目次

第166号

講演録

こどもの人権問題～虐待問題を中心に～ 才村 純 1

人権インタビュー

孤立・孤独高齢者 ZERO を目指して 松本 克二 8

エッセイ

私の人権口演と「三味線」 早瀬詠一郎 14

憲法と人権

人権の歴史 植野妙実子 16

第43回 全国中学生人権作文コンテスト中央大会

声を聞いて 安東 セア 18

「自分らしく」 大久保果穂 20

第71回 国際理解・国際協力のための高校生の主張コンクール

日本ユネスコ国内委員会会長賞 三浦すみれ 22

NHK会長賞 宮川 美邑 24

国際連合広報センター賞 高西萌奈メイ 26

委員活動

令和6年度東京都連多摩西人権擁護委員協議会研修会

「人権擁護委員制度の歴史と委員の役割」より

人権擁護委員の原点 榊 かおる 28

人権東西南北

茨城県連合会の主な活動状況と課題 大竹喜士郎 30

柔軟に順応した工夫で人権啓発活動の拡大を 畔津 憲一 31

人間味のある委員活動を図るために 佐藤 正弘 32

■ 国連人権理事会での動き 外務省人権人道課 33

医療と健康

こどもの食に関する相談 川上 一恵 34

家庭問題カウンセリングルーム

こどもに謝ってほしいんです 田中 教仁 36

● 全連の活動 38

● 協力会の活動 39

● 法務省だより 40

● 編集後記 40



表紙の説明 (世界人権宣言啓発書画)

公益財団法人人権擁護協会所蔵

第11条 「安全ピン」

開いたままの安全ピンで「無罪」であることを表わし、有罪が立証されるまでは束縛されないということを表わしたもの

本誌の売上金は、全国人権擁護委員連合会等の活動を助成しています。